

カラヤキ

- 器具枠ツマミが右 (OFF) の方向に回らない状態にあることを確認してください。
- 1. マントルを下部から均等に火をつけて、完全に灰状になるまで燃やしてください。
- 2. ベンチレーター、グローブガード、グローブガードを元通りに戻して、ベンチレーターナットを閉めて固定してください。その際、グローブガードの先が所定の位置にはまるようにセッティングしてください。
- 注意**
 - マントルは消耗品です。常時予備のマントルをご用意ください。穴のあいたマントルをそのまま使用するとグローブの破損または異常過熱の原因となります。

点火・消火

- 1. 器具枠ツマミを左 (HIGH) にゆっくりと回してガスを出し、イグナイターボタンを数回押し、マントルに点火します。イグナイターボタンはキャップと音がするまで確実に押してください。
- 2. 光量調節は、器具枠ツマミを左右に回して調節してください。
- 3. 消火は、器具枠ツマミを右 (OFF) の方向に止まるまで回して確実に消火してください。
- 注意**
 - 器具枠ツマミを急激に回すと炎が消えることがあります。
 - 炎を小さくすると風などで消えることがあります。
 - 使用中は、ときどき正常に燃焼しているか確認してください。
- 注意**
 - 器具枠ツマミを完全に右 (OFF) の方向に止まるまで回してください。炎が消えても完全に OFF になっていないとガス漏れし、危険です。
- 注意**
 - ガスの勢いが強すぎたり、気温、風速、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。このような時はマッチ、ライター等で点火してください。
 - 点火していないに、器具枠ツマミを左 (OFF) の方向に回らなくとも、ガス漏れを起こし危険です。必ずガスを確認してください。

収納・保管

- 1. 器具枠ツマミが右 (OFF) の方向に回らない状態にあることを確認してください。
- 2. ガスカートリッジ (容器) を垂直に左に回して取り外してください。ガスカートリッジ (容器) は横断面に置いてある注意を参考に、風通しの良い湿気の少ない 40℃ 以下の場所に容器キャップをして保管してください。容器キャップはガスカートリッジ (容器) を使い切らなかつた場合、必要となりますので必ず保管してください。
- 3. ランタン本体は、付属のソフトケースに入れ保管してください。

日常の点検・お手入れの方法

- ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
- 点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ (容器) を取り外して、ランタンが充分冷えてから行ってください。
- 故障または修理したいと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店までご連絡ください。

点検とお手入れのポイント		
本体	自動点火装置およびその周辺	ガラスグローブ
<ul style="list-style-type: none"> ● 台所用合成洗剤 (食器用・調理器具用) をしみこませ、よく洗ってください。お湯で洗った後、きれいな布で、もう一度ふいてください。 ● カラヤキの途中や、カラヤキをせずにしばらく放置して、乾かしてください。 ● 乾かしたカラヤキは、マントル破損の原因となります。下部から均等に火をつけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電極部の汚れは、点火不良の原因となります。取った後、乾かしてください (このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガラス用クリーナーを使って汚れをふきとってください。乾いた後、乾いた布でもう一度ふいてください。 ● ガラスグローブは割れやすいので取扱いには十分注意してください。

- 1. ガスカートリッジ (容器) をランタンから必ず取りはずし、器具枠ツマミを右 (OFF) の方向に止まるまで回してください。
- 2. ベンチレーター、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
- 3. ランタンの各部が充分冷えてから、本体をソフトケースに収納し、湿気の少ない所に保管してください。
- 4. グローブガードは、取扱いには十分注意してください。
- 5. ガスカートリッジ (容器) は、容器キャップをつけ、風通しの良い、湿気の少ない 40℃ 以下の場所に保管してください。
- 長期使用、ガスカートリッジ (容器) を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガス漏れの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ (容器) は古いものから使用し、早めに使いきってください。
- 6. ランタンは立てて保管してください。移動する場合も立ててください。
- 7. 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

故障・異常の見分け方と処理の方法

- LP ガスの性質上気温が低い場合やガスカートリッジ (容器) が冷えた場合には、炎が小さくなる場合がありますが、器具の異常ではありません。
- 連続使用 (1 時間以上) した場合、炎が小さくなる場合がありますが、異常ではありません。

原因	器具枠ツマミを右 (OFF) の方向に回す	器具枠ツマミを左 (HIGH) に回す	ベンチレーターを閉める	グローブガードを外す	ベンチレーターナットを閉める	器具枠ツマミを右 (OFF) の方向に回す	器具枠ツマミを左 (HIGH) に回す	ベンチレーターを閉める	グローブガードを外す	ベンチレーターナットを閉める
カートリッジ (容器) が取り外しできない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
点火火炎が飛ばない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
炎が安定しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火力が強い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消火しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
処置方法	右 (OFF) の方向に回す	左 (HIGH) に回す	閉める	外す	閉める	右 (OFF) の方向に回す	左 (HIGH) に回す	閉める	外す	閉める

※以上、の事項をご確認の上、それでも不具合な場合、あるいはご不明の場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス
● お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。

Coleman
Coleman ジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
お問い合わせ先 0120-1111-957

仕様

品名	ノーザンノバ®
型式	2000027890
外形寸法	約40×35×45 (H) cm
重量	約1.7kg
使用容器	コールマン®タイプ専用容器
点火方式	圧電点火方式
ガス消費量	約240g/h (レギュラーガス・最大出力時)
燃焼時間	約2~4時間 (470g缶使用時)

発売元: **コールマン ジャパン株式会社**
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル お問い合わせ先 0120-111-957
商品の取扱いについては、上記へご連絡ください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体、注釈ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
- 保証期間中でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がないうち。
 - (ロ) 本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
 - (ニ) お買い上げ後、落とされた場合等による故障、損傷。
 - (ホ) 火災、公害および地震、風水害、損害その他天災地災等、外部に要因がある故障、損傷。
 - (ヘ) 指定外の燃料使用による故障、損傷。
 - (ト) マントル等の消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- 保証期間経過後の有料修理は、お客様の希望により、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

コールマン製品保証書 **2000027890**

ご購入日: _____ 年 ____ 月 ____ 日

ご購入先: _____

保証期間: _____ 年間

お問い合わせ先: _____

お買い上げ時レシート添付場所 (お買い上げ年月日、販売店の証明がないと保証を受けられない場合がありますのでご注意ください。)

© 2018 The Coleman Company, Inc. All rights reserved. Made in China.

NORTHERN NOVA® 取扱説明書



このたびは、ノーザンノバ®をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。お読みになった後も、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。修理・補償を受ける際に必要になります。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な禁止
- ⚠ 一般的な注意
- ❗ 必ず行う
- 🚫 接触禁止
- 🔥 火気禁止

※改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

警告 安全のために必ずお守りください。

- ガスカートリッジ (容器) の取扱いについて**
 - 1. 以下のような方は厳禁! ガスカートリッジ (容器) が過熱し燃発の原因となります。
 - 風防、放板や岩などで囲うような使用。
 - 他のコロン火気・焚火のそばでの使用。
 - その他、ガスカートリッジ (容器) が過熱するよう行為。
- 2. ガスカートリッジ (容器) は熱気のある場所に放置しないでください。
 - ガスカートリッジ (容器) はファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。
- 3. ガスカートリッジ (容器) を火中に投じないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。
- 4. ガスカートリッジ (容器) は火気の近くや直射日光 (室内や車内の窓際など) の当たる場所等 40℃ 以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。
- 5. ガスカートリッジ (容器) は風通しの良い湿気の少ない 40℃ 以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ (容器) を取り外して別々に保管してください。
- 6. 使用済みガスカートリッジ (容器) の処理について
使用済みガスカートリッジ (容器) は、キャンプ場等に放置せずに必ず持ち帰り、各自自治体の指示に従って処分してください。

注意 安全のために必ずお守りください。

- ガスカートリッジ (容器) の取扱いについて**
 - 1. ガスカートリッジ (容器) に表示している注意事項をよく読んで必ずお守りください。
 - 必ず行う
 - 保管してあるガスカートリッジ (容器) はときどき点検してさびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。
 - 必ず行う
 - ガスカートリッジ (容器) に LP ガスの再充填はできません。
 - 2. ガスカートリッジ (容器) のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。
 - 3. ガスカートリッジ (容器) に、強い衝撃を与えないでください。変形するとランタンにセットできなかったりガス漏れの原因となります。
 - ガス事故防止**
 - 1. ガスカートリッジ (容器) がセットされていて、着火していないのに器具枠ツマミが (OFF) 以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。十分にご注意ください。
 - 2. ガスカートリッジ (容器) は正しく装着してください。
 - ガスカートリッジ (容器) を正しくセットしないと、ガスが漏れて火災の原因となります。詳しくは 5 ページ「点火の準備」を確認してください。
 - 3. 使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を十分にしてください。LP ガスは比重が重く下部にたまりやすくなります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたら電気製品のスイッチを入れたら、火気の使用をしないでください。引火による燃発の可能性があります。
 - 使用をやめガスカートリッジ (容器) をはずしてください。
 - 火気禁止
 - 4. 燃えやすい物から上部 1.2m、周囲は 50cm 以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。
- 火災予防の注意**
 - 1. ランタンの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの (ビニール口など) を敷いたり通気のさまたげになるものを置かないでください。火災の原因となります。
 - 2. 上から物が落ちるおそれのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。
 - 3. 点灯したままの持ち運びは禁止。転倒するとやけどや火災の原因となります。
 - 4. 燃えやすい物から上部 1.2m、周囲は 50cm 以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

注意 安全のために必ずお守りください。

- 使用上の注意**
 - ランタンを衣類の乾燥やストーブのかりなど照明以外の用途に使用しないでください。衣類が落ちるなど火災の原因となります。
 - 使用中や使用後は、ベンチレーター・ガラスグローブ等は高温になっておきますので、手を触れないでください。火傷の原因となります。
 - ランタンハンガール等で吊るして使用するときはしっかり固定させておいてください。落下すると思わぬ事故の原因となります。風や振動に注意してください。
- 点火するときには顔や手をランタン付近に近づけないでください。
- 接触禁止
- 万が一異常音、ガス臭、赤い煙など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具枠ツマミを右 (OFF) の方向に回して消火し、ガスカートリッジ (容器) を本体から取りはずしてください。
- 「故障・異常の見分け方と処置の方法」A ページを参照し指示に従ってください。
- 必ず行う
- 必ず行う
- 必ず行う

ランタンの組み立て

- はじめに、3本の脚を確実にロックされる位置まで回転させます。
- グローブを回のようにセットします。
- グローブガードを上からはめます。その際、グローブガードの先を本体の差込口 (G 字所) に差し込んでください。
- ベンチレーターを取り付けます。
- ベンチレーターナットを取り付けます。

点火の準備 屋外の火の気のない所で行ってください。

- 本体下部のカートリッジ接合部にある O リング及び O リングワッシャーに損傷がないことを確認してください。
- 器具枠ツマミを右 (OFF) 方向に止まるまで回し、閉じている状態に確保してください。
- カートリッジ (容器) を水平にして、接合部に差し込み、斜めに押し込んだ状態で確実に固定してください。

マントルの取付け

- ベンチレーターナットを外してください。
- ベンチレーター、グローブガード、グローブを外してください。
- マントルの縁が垂直になるようにして、上下のワイヤークリップ部分をバーナーチューブとマントルサポートにそれぞれ合わせてひねって固定してください。